



総務部	TEL:093-695-3111 E-mail: info@ksrp.or.jp 〒808-0135 北九州市若松区ひびきの2-1 産学連携センター1階	学術情報センター 図書室	TEL:093-695-3150 TEL:093-695-3151 〒808-0135 北九州市若松区ひびきの1-3 学術情報センター2階
産学連携センター	TEL:093-695-3006 産学連携部／E-mail: iac@ksrp.or.jp GX推進部／E-mail: fais-gxsuishin@ksrp.or.jp 〒808-0135 北九州市若松区ひびきの2-1 産学連携センター2階	ロボット・DX推進センター	ロボット産業推進部／TEL:093-695-3085 DX推進部／TEL:093-695-3077 E-mail: robodx@ksrp.or.jp 〒808-0138 北九州市若松区ひびきの北8-1 技術開発交流センター1階
自動車産業支援センター	TEL:093-695-3685 E-mail: car@ksrp.or.jp 〒808-0135 北九州市若松区ひびきの2-1 産学連携センター2階	中小企業支援センター	TEL:093-873-1430 E-mail: k_info@ksrp.or.jp 〒804-0003 北九州市戸畑区中原新町2-1 北九州テクノセンター1階
半導体産業支援センター	TEL:093-695-3007 E-mail: ksnet@ksrp.or.jp 〒808-0135 北九州市若松区ひびきの2-1 産学連携センター2階		



ACCESS

- 公共交通機関の場合 JR折尾駅 バス停 → 市営バス・西鉄バス → 学研都市ひびきの [所要時間約20分]
北九州空港バス停 → 西鉄バス → 学研都市ひびきの [所要時間約80分]
- 車をご利用の場合 北九州都市高速道路 黒崎出入口(黒崎・折尾出口下車) 折尾方面へ → 学研都市ひびきの [北九州都市高速道路 黒崎出入口からの所要時間約20分]
小倉都心 → 北九州都市高速道路 東田出入口 → 黒崎バイパス 皇后崎ランプ → 学研都市ひびきの [小倉都心からの所要時間約30分]

新たな産業創出と 先端科学の学術研究拠点

北九州学術研究都市は、2001年4月に「アジアに開かれた学術研究都市」として、「新たな産業の創出・技術の高度化」を目指して、福岡県北九州市若松区にオープンした研究開発・産学連携拠点です。国内で唯一、理工系の国公立大学や研究機関、先進企業が同じキャンパスに集まり、先端的な科学技術、特に「環境技術」と「情報技術」を中心に活発な教育研究活動を展開しています。

北九州学術研究都市が目指すもの
大学等の『知』を活用した地域の産業・学術の振興
・アジアに開かれた学術研究拠点 ・新たな産業の創出 ・技術の高度化



新たな技術と豊かな生活を創り出す
アジアの先端産業都市
の実現



[北九州学術研究都市の特色]



理工系の大学・研究機関、研究開発型企业等を同一のキャンパスに集積

- 国・公・私立大学(1学部4大学院)
北九州市立大学国際環境工学部・大学院国際環境工学研究科 早稲田大学大学院情報生産システム研究科
九州工業大学大学院生命体工学研究科 福岡大学大学院工学研究科
- 研究機関(13機関) ●研究開発型企业等(52社) (令和6年8月1日現在)



研究者・教員・学生相互の交流と連携

- 進出大学による共同研究、教員等の交流
- 単位互換の実施
- 進出大学による連携大学院の運営 カーロボ AI 連携大学院



進出大学の教育・研究理念の共通化

- 先端的な科学技術分野での教育・研究の展開
- 産学連携の促進
- 起業家精神の育成
- アジアの学術研究拠点の形成



キャンパスの一体的な運営、施設の共同利用

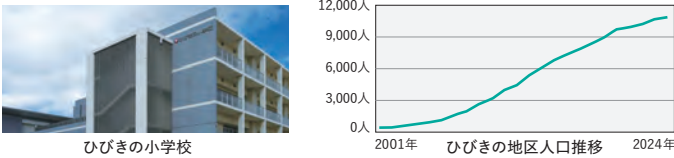
- 学研都市進出大学の代表者で構成する「キャンパス運営委員会」による共同事業の企画・立案
- 図書室、情報処理施設、便利施設の共同利用

北九州学術研究都市整備事業

- 整備の基本方針
北九州学術研究都市の開発は、周辺の自然環境や都市環境を活かしなが、先端科学技術に関する教育・研究機関の集積と良好な住宅街の供給を同時に行う『複合的な街づくり』として進めています。
- 開発地域／若松区西部・八幡西区北西部
- 開発総面積／約335ha
- 計画人口／12,000人
- 整備スケジュール
【第1期事業(約121ha)】 平成7年度～18年度
事業主体:(独)都市再生機構
【第2期事業(約136ha)】 平成14年度～30年度
事業主体:北九州市
【第3期事業(約68ha)】 未定
【河川事業(約10ha)】

成長を続ける学研都市、ひびきの

整備事業の推進に伴って大学や研究機関、企業の進出等が進み、現在の学研都市を形成しています。同時に、ひびきの地区は宅地として開発され、住まいを構える人も増えたことで、北九州市では15年ぶりとなる新設の「市立ひびきの小学校」が平成29年に開校しました。今では約1,500人の児童が学んでいます。また、商業施設も出店が続き、ひとつの街として成長しています。



●北九州学術研究都市の屋間人口 (第1期施行区域 大学・関連施設ゾーン)
約3,500名(令和6年5月1日現在)
学生／2,503名(うち留学生826名) 教員※専任教員のみ／170名(うち企業出身者24名)
研究員／168名(うち外国人研究員47名)

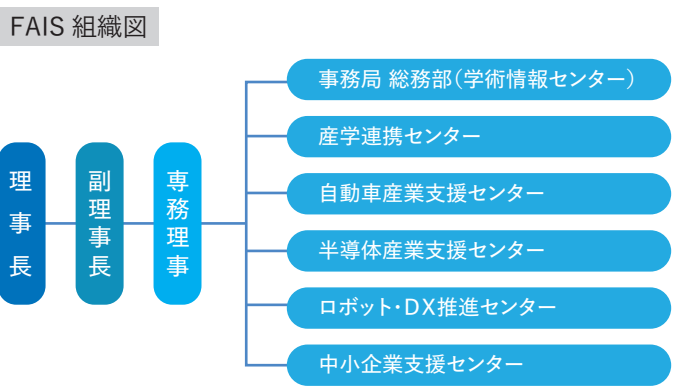
北九州学術研究都市の管理・運営

公益財団法人北九州産業学術推進機構 (FAIS) は、北九州学術研究都市の管理・運営を担い、北九州地域における産学官連携による研究開発や学術研究の推進等を行うことで、産業技術の高度化や活力ある地域企業群の創出・育成に寄与することを目指しています。



Kitakyushu Foundation for the Advancement of Industry, Science and Technology

- 理事長 松永 守央
- 役員等構成 【学 界】学研都市参画大学副学長
市内理工系大学長等
【産業界】商工会議所等経済団体
【行 政】北九州市、福岡県



学研都市の進出大学、研究機関、企業および産業連携施設

1 北九州市立大学



国際環境工学部 [学生定員／1,020名]

- 環境化学工学科
- 機械システム工学科
- 情報システム工学科
- 建築デザイン学科
- 環境生命工学科

大学院国際環境工学研究科 [学生定員／346名]

- 環境システム専攻
- 環境工学専攻
- 情報工学専攻

2 九州工業大学大学院



生命体工学研究科 [学生定員／352名]

- 生体機能応用工学専攻
- 人間知能システム工学専攻
- 生命体工学専攻

3 早稲田大学大学院



情報生産システム研究科 [学生定員／460名]

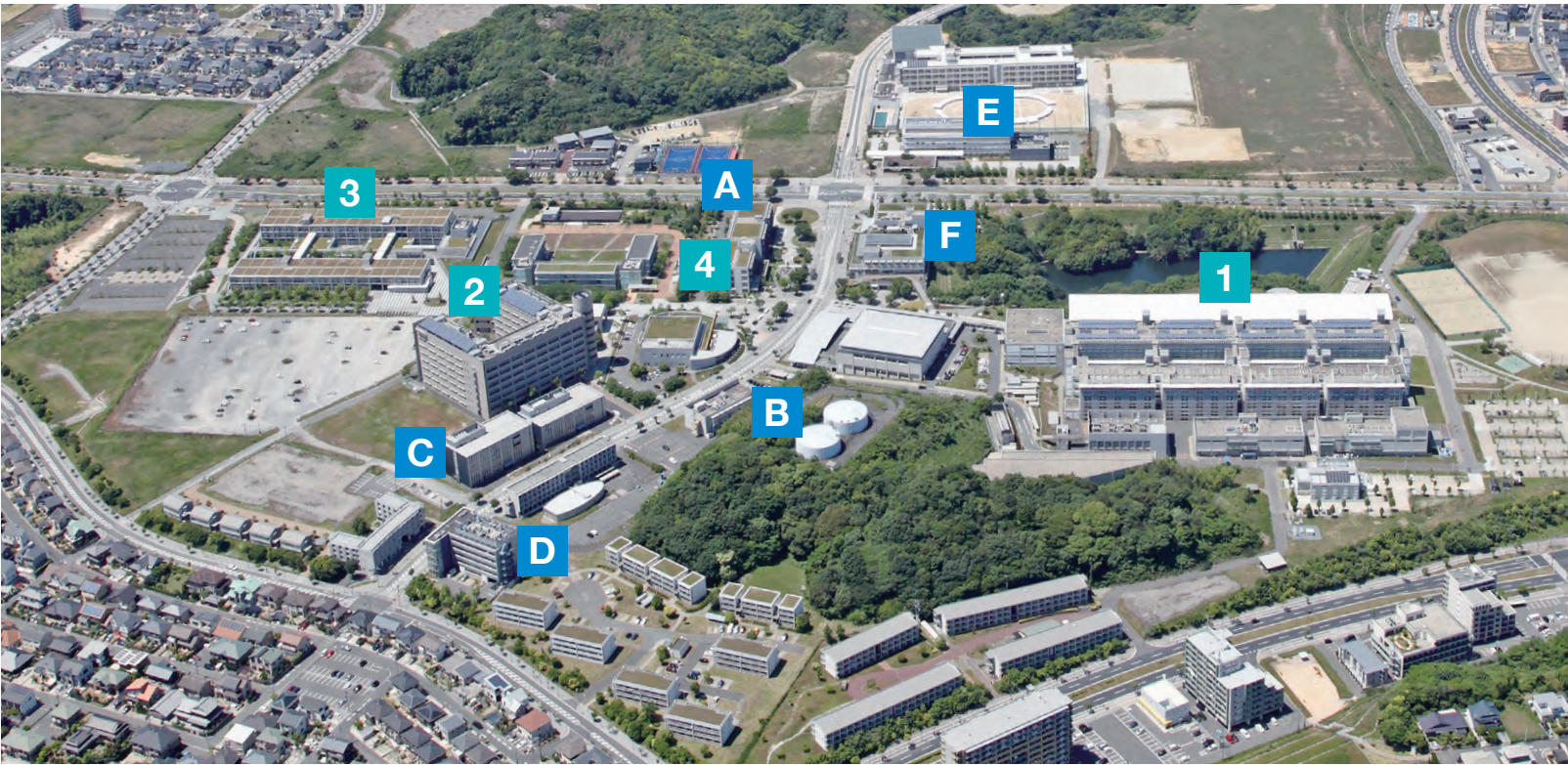
- 情報アーキテクチャ分野
- 集積システム分野
- 生産システム分野

4 福岡大学大学院

工学研究科 [学生定員／14名]

- 資源循環・環境工学専攻
- エネルギー・環境システム工学専攻

※産学連携センター内



学生数および教員数							
(令和6年5月1日現在)							
大学	学部	修士	博士	研究生	特別研究学生	学生数計	教員数
北九州市立大学 国際環境工学部	1,123 (37)	— —	— —	1 (1)	0 (0)	1,124 (38)	84
北九州市立大学 国際環境工学研究科	— —	308 (36)	163 (142)	0 (0)	0 (0)	471 (178)	—
九州工業大学大学院 生命体工学研究科	— —	240 (31)	104 (45)	4 (4)	2 (2)	350 (82)	45
早稲田大学大学院 情報生産システム研究科	— —	428 (404)	123 (120)	1 (1)	3 (3)	555 (528)	39
福岡大学大学院 工学研究科	— —	3 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	2
合 計	1,123 (37)	979 (471)	390 (307)	6 (6)	5 (5)	2,503 (826)	170

()内は留学生数

A 産学連携センター [産学連携センター1号館]



産・学・官が手を組んで研究を進める中核施設

「公益財団法人福岡県リサイクル総合研究事業化センター」などの研究機関、最先端の研究を行う企業、「福岡大学大学院工学研究科」が入居しています。また、コミュニケーションスペース「HIBIKINO ODORIVA (ヒビキノオドリバ)」や研修室、会議室なども提供しています。

- 貸研究室 (31室、オフィス系)
- 研修室、会議室 (中・小)、特別会議室、特別応接室

B 共同研究開発センター [産学連携センター2号館]



半導体微細加工技術の研究開発を支援する施設

企業や大学などが半導体製造関連分野の研究開発などを行う施設です。ICやMEMSの試作を行う研究開発機器及び研究室の提供などを行っています。

- 貸研究室 (7室、オフィス系)
- 共同利用のIC・MEMS向け微細加工装置群を設置 (イオン注入装置、電子ビーム描画装置、両面露光装置、高速熱処理 (RTA)、ダイシングソー、ボンディング装置等)

C 情報技術高度化センター [産学連携センター3号館]



ネットワークや半導体設計に関する研究開発を行う施設

企業や大学などが高度な情報通信技術や半導体設計技術の研究開発などを行う施設です。半導体技術者育成のための研修室や半導体評価・解析を行う機器及び研究室の提供などを行っています。

- 貸研究室 (34室、オフィス系・小規模研究室)
- 半導体評価・解析を行う機器などを設置

D 事業化支援センター [産学連携センター4号館]



大学発ベンチャー等の研究開発や事業化を支援する施設

オフィス系研究室のほか、機械系と化学系の研究室や小規模ブース単位で使用できる共同研究室を提供しています。

- 貸研究室 (36室、オフィス系・機械系・化学系)
- 会議室 (中・小)
- 共同研究室 (10ブース)
- シェアオフィス

E 技術開発交流センター [産学連携センター5号館]



ロボット、カーエレクトロニクス分野の技術開発支援やDXを推進する施設

ロボット導入やカーエレクトロニクスの技術開発支援、DX (IoTの導入や業務のデジタル化) を推進する施設です。また、学術研究を目的に訪れるの方のための宿泊施設も提供しています。

- 貸研究室 (48室、オフィス系・機械系・化学系)
- 宿泊室 (9室、シングル8室・ツイン1室)
- 会議室 (中・小)
- 交流室 (1室)

貸研究室賃料

◎2,000円/㎡・月 (共益費別 500円/㎡・月)
(例: 研究室 50㎡の場合およそ 150万円/年 光熱水費等別)

※FAISは、北九州市から指定管理業者としての指定を受け、産学連携施設の効果的・効率的な管理・運営を行っています。

F 学術情報センター [図書室・情報処理施設]



情報を集積・発信するマルチメディアステーション

学術情報の収集提供 (図書室) の機能、情報処理教育施設の機能を持つほか、遠隔会議や情報コンテンツ制作をサポートする環境を提供しています。

学研都市進出企業インタビュー

石けんの製造メーカー
シャボン玉石けん株式会社



人にも環境にも優しい無添加石けんが人気のシャボン玉石けんは、九州を代表する老舗の洗浄剤メーカー。業績を伸ばし続ける同社は2011年、北九州学術研究都市に研究施設「石けんリサーチセンター」を開設しました。そこでは石けんの技術を応用し、石けん系消火剤など数多くのユニークな商品開発が行われています。取締役研究開発本部長川原貴佳さんに、北九州学術研究都市への入居の経緯や現在の状況などをうかがいました。

Q. 入居された経緯は

A. 1910年に創業し、創業100周年を迎えた2010年に、もっと石けんを深く掘り下げようと考えました。このため2011年に石けんリサーチセンターを設立して、石けん研究拠点として、石けんに特化したユニークな基礎研究・応用研究を行うことにしたのです。それ以前の2003年には北九州市立大学国際環境工学部の上江洲一也教授（現副学長）と共同で、石けん系消火剤の研究を始めていましたし、学研都市に

キャンパスを構える北九州市立大学、九州工業大学と複数の産学連携プロジェクトを進めていました。学術プロジェクトをこの場所で行うことで、技術の分野において世界一の石けんメーカーを目指そうと入居を決めました。

Q. どんな研究をされていますか

A. 石けんは天然の油脂からできる化合物です。石けんリサーチセンターでは石けん成分を分解してその効果を研究しています。具体的には洗浄力や泡立ちなどです。あまり知られていませんが、“無添加”石けんというものは世の中にほとんどありません。合成界面活性剤や香料などの添加物が含まれるのです。天然の油脂には独特の臭いがありますが、当社では油脂の精製度を高めて臭いをおさえる研究も行っています。界面活性剤の環境への影響調査や、石けんを使った抗カビ剤、インドネシアの泥炭火災向け石けん系消火剤などの研究も行っています。

Q. 学研都市に入居することのメリットとは

A. 大学の先生と距離が近いというのが一番のメリットです。シャボン玉石けんの本社までは車を走れば15分程度とアクセスの良さも魅力です。会社の中にしかないという外部の情報はなかなか入ってきませんが、本社とは別にオフィスを構えることで大学や市、また北九州産業学術推進機構（FAIS）からさまざまな情報を得られるメリットも大きいですね。学研都市にはさまざまな分野の企業、また大学の先生がいらっしゃいますが、皆さんと連携が取りやすい環境はとても魅力的だと思います。

〔企業概要〕

企業名 シャボン玉石けん株式会社
代表者 森田隼人
本社所在地 福岡県北九州市若松区南二島 2-23-1
URL <https://www.shabon.com/>

進出研究機関

研究機関等の名称	入居場所	研究内容
北九州市立大学 環境技術研究所	北九州市立大学	地球環境の変化と地域社会の要請に応えるため、環境エネルギー、バイオマテリアル、情報、ロボット技術等の分野の研究と技術開発を戦略的に推進
北九州市立大学 環境技術研究所・Green LPG 研究室	事業化支援センター	LPガスの新技術に関する研究
北九州市立大学 福田研究室	情報技術高度化センター	マンション木材用「接着形成造作用芯材」の事業化に関する研究
九州工業大学 次世代パワーエレクトロニクス研究センター	九州工業大学および共同研究開発センター	省エネルギーの推進、電力の高度利用技術、自然エネルギーの活用等、低炭素社会の実現に貢献するパワー半導体を中心とした次世代パワーエレクトロニクス技術の研究を行う
九州工業大学 未来社会ロボット実装センター	九州工業大学および情報技術高度化センター	○極限環境に対応可能な特殊環境ロボット群の開発・実用化 ○医療・介護ロボットの開発・実用化 ○工場内自動化対応技術の開発・実用化 ○信頼できるロボットの実用化を支える品質保証を可能とするオープンソフトウェアの開発
早稲田大学 情報生産システム研究センター	早稲田大学情報生産システム研究センター	自動車エレクトロニクスおよびLSI分野における国際的水準の高度な研究、人材育成
福岡大学 産学官連携センター北九州産学連携推進室	産学連携センター	環境産業に関する企業のニーズ、自治体の政策およびシーズをマッチングさせ、産学官連携による環境産業振興を展開
一般財団法人ファジシシステム研究所	共同研究開発センター	ファジ理論を応用した情報処理システムに関する試験研究
一般社団法人HiBD研究所	産学連携センターおよび事業化支援センター	再生可能資源、炭酸ガスを原料とする液体燃料製造の研究開発
公益社団法人無人機研究開発機構	産学連携センター	無人機全般について調査、研究および技術向上についての知識の交換、情報の提供等を行う場となることにより、無人機に関する研究の進歩普及
公益財団法人福岡県リサイクル総合研究事業化センター	産学連携センター	資源循環型社会の構築に向けた、リサイクル技術の開発や社会システムの確立に取り組む産学官民による研究開発および事業化を支援
NPO法人武道の学校 北九州学研都市・運動脳科学研究所	事業化支援センター	小型の脳活動センサーを使用し、運動時の前頭前野の血流量を計測
特定非営利活動法人あそびとまなび研究所	事業化支援センター	竹コンポストを利用した地域における生ごみ減容の最適普及促進の実証研究

進出企業

	企業名	事業内容
産学連携センター	石田特許事務所	特許、および実用新案・意匠・商標登録の出願手続の代理、特許出願等に関するコンサルティング
	プラントメイクRISE(株)	焼却炉設備におけるコーティング剤開発、3Dスキャナーによる構造計算ソフトの開発
	(株)アイシン	画像認識・空間認識、車両制御等の要素技術開発
	(株)ゲーメック	電気設備・計装設備・FA設備の設計・製作 マテハン関連機器の設計・製作 各種装置据付・メンテナンス コンピュータシステムの設計・製作
共同研究開発センター	(株)セキュリティ情報研究所	システム開発・システム保守(24時間365日)
	(有)K2R	触媒反応を利用したラジカル種含有の水の生成装置の研究開発
	(株)Power Diamond Systems	ダイヤモンド半導体デバイスの研究開発
情報技術高度化センター	三島光産(株)	薬剤自動除包分機および調剤薬局関連機器の開発、製造
	(株)ITS	組み込みシステムの設計・開発および、半導体集積回路等電子部品の研究開発
	(株)華仁サービス	(1)日本の半導体設計企業からの優秀な外国人エンジニア受け入れ要望に対し、弊社が得意とする海外(中国・韓国・インド・ネパール・インドネシア)の送り機関から送られる有力人材の紹介事業 (2)海外(中国・韓国・インド・ネパール・インドネシア)の大学教育機関との業務提携を通じ、現地学生をインターンシップ生として学研都市内の大学に配属させることで関連企業の有力人材確保の機会を提供する事業
	(同)数理科学研究所	数理科学に関する研究及び開発事業
	(株)AI Samurai	人工知能技術を活用した特許システムの開発・販売
	アイサンテクノロジー(株)	自動運転用高精度3次元地図の開発・作成。自動運転車両の構築、自動運転車両を使った実証実験の実施、支援サービス
	(同)共創テクノロジー	VR、Webシステムなどソフトウェア研究開発、イベント制作、プログラミング教室運営、3Dプリンティング・ロボット技術に関するコンサルティング等
	(株)シキノハイテック	半導体設備の設計/製作/調整、LSI回路設計/レイアウト等
	吉川工業(株)	RF-IDに関する研究開発事業
	(株)C&Gシステムズ	金型設計・加工用CAD/CAMソフトウェア開発
技術開発交流センター	シャボン玉石けん(株)	無添加の化粧石けん、家庭用洗浄剤、消火剤などの製造販売
	(株)トリコ	電気部品の開発・修理
	(株)FILTOM	ブラセンタエキス(豚胎盤液)を使った化粧品の開発・製造・販売
	(株)セキュアサイクル	行動認識技術の汎用化プラットフォームの開発およびセキュリティ事業
	KOA(株)	電子部品、センサ素子、センサモジュールに関する情報収集、情報交換ならびに産学共同開発
	(株)正興電機製作所	電力、環境エネルギー分野などのインフラ業界を中心とした、当社独自の情報・制御による製品・サービスの提供
	大陽日酸ATI(株)	半導体・工業用ガスを利用する機器・装置の製作及びICT・DXを活用した制御システムの構築



研究開発に最適な学研都市

●研究開発をサポート

支援機関（FAIS）の各専門コーディネータが企業の研究開発をサポートします。大学研究者などの連携先を探る相談や、マッチングの支援等を受けることができます。また、FAIS 研究開発補助金へ申請できます（助成要件あり）。



●充実した研究設備

半導体のケミカルプロセス室、イエロールーム、組立・測定室等の研究設備を利用できます。

●用途に応じたオフィスの提供

研究開発の内容に適したオフィスを用意しています。ベンチャー企業等には賃料の減免制度（最大半額）があります（減免要件あり）。市のオフィス立地促進補助金の助成対象の施設です（助成要件あり）。

●充実した利便施設

無料でミーティングルーム、交流スペース、体育館、トレーニングジム、テニスコート、シャワールーム、専門図書館などを利用できます。

	企業名	事業内容
事業化支援センター	(有)ビー	画像処理システムおよびソフトウェアの研究開発
	実研開発(有)	臨床工学教育機材、光伝送生体信号測定装置の開発・販売
	(株)ブラテック	Webシステム開発、アカデミックソリューション事業
	アネーラ税理士法人	監査業務、各種税務書類の作成、税務代理、税務相談、税務コンサルティング
	(株)AKシステム	半導体製造装置製作技術等の新産業分野(医療・福祉等分野)への応用研究開発
	アーティックス(株)	IoT、人工知能、ブロックチェーンなどに関する研究開発
	豊光社テクノロジーズ(株)	界面分子結合技術(IMB)を用いた異種及び同種材料を科学結合させる接合要素技術の研究開発
	レアメタル技研(株)	リチウム吸着剤の大量合成による事業化
	環境エネルギー(株)	バイオジェット燃料の開発・実用化、バイオディーゼル燃料の高品質化
	ひびきの電子(株)	電界共振型生体センシング及びセンシングデータ解析システムの開発
	(株)ワークス	ワイヤレス給電技術を利用した消化管内自走式カプセル内視鏡の開発
	(株)ロボサイエンス	水中ロボット・船底清掃ロボットの開発
	(株)アポロジャパン	スクリーンコードおよび自動運転の基盤技術開発
	HMコネクト(株)	VR及びAR技術を活用したメタバース上でのコミュニティ創造
	(一社)進路指導・キャリア教育支援機構	中等教育における進路指導・キャリア教育・就職指導の教育
	ハインツテック(株)	細胞内への物質導入・細胞内物質抽出のための、ナノ構造体を用いたツールの開発・製造、およびそれらを用いた研究開発支援
	LOVO&Co.	クラウド上の生産設備を利用するスマートファクトリー
	(同)ノーエン	農業における気象データ活用に関わる研究・開発
	フォースウェーブ・パートナーズ(株)	ロボットシステムエンジニアリング：自動化システムの企画・設計・制作・販売
	SKO(株)	日本の自動車産業における製造工程のコスト削減を目的とし、システム管理の効率化を関係大学と連携し研究を行う
	(株)On&On	DX技術を活用したオリジナル和菓子の開発
	RoboPlusひびきの(株)	メカトロニクス設計・製造および販売、コンサルタント業
	(株)シンコム	(1)半導体の開発、設計 (2)半導体関連のソフトウェア、ハードウェアの開発、設計、販売、輸出、輸入 (3)深層学習関連のソフトウェア・ハードウェア・データセットの設計・開発 (4)電子機器及び部品の輸出、輸入 (5)国内及び海外の派遣業務一般(許可番号：派14-301143)
	STRATOVISION	小型気象観測気球の高度化技術開発、超音波式風速計の開発・販売
	(株)ココプラス	化粧品・サプリメント原料の研究開発
	(株)Windy	病院、薬局で使用するソフト開発、自動車工場での作業分析ソフトの開発
	(株)センタシストアカデミー	半導体開発経験と知識を活用した、①半導体設計工程の人材育成、②半導体製造工程の人材育成の事業を行う
	Japan Quality(株)	超精密重量機器の特殊輸送、搬入出、据付け、解体、メンテナンス

令和6年8月1日現在